

# 令和5年度 授業改善推進プラン

青梅市立西中学校

教科名

数学

科

## 1 生徒の実態

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業に集中して取り組む生徒は多いが、中には集中力が継続しない生徒もいる。</li> <li>○基本的内容の定着に差がある。</li> <li>○提出物の提出状況は概ね良好である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的には、授業に真面目に取り組んでいる。周りからのヒントで解答にたどり着く生徒がすこしずつ増えてきた。</li> <li>○基本的内容の定着に差がある。</li> <li>○手を上げて自ら積極的に授業に取り組む生徒が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業に集中して取り組む生徒が多い。周りからのヒントで解答にたどり着く生徒、質問を知る生徒が増えてきた。</li> <li>○基本的内容の定着に差がある。</li> <li>○提出物の提出状況は概ね良好である。</li> </ul>

## 2 指導上の課題

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎力の定着・向上を図るため、問題演習の時間を十分に設定する必要がある。</li> <li>○数学的な思考力・判断力・表現力を養うために、必要に応じて応用問題や文章問題等に取り組む時間の設定が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎力の定着・向上を図るため、問題演習の時間を十分に設定する必要がある。反復練習が必要である。</li> <li>○数学的な思考力・判断力・表現力を養うために、必要に応じて応用問題や文章問題等に取り組む必要がある。</li> <li>○生徒が問題を解く過程で、十分に生徒の答える機会や時間が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎力の定着・向上を図るため、問題演習の時間を十分に設定する必要がある。内容によっては周りと確認する時間が必要である。</li> <li>○数学的な思考力・判断力・表現力を養うために、必要に応じて応用問題や文章問題等に取り組む必要がある。</li> </ul>

## 3 授業改善の視点とその方策

1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎回、小テストを実施し、基礎・基本を定着させる。また、既習事項を確認しながら、授業を行っていく。</li> <li>○数学的な思考力・判断力・表現力を養い、活用する力を身に付けるために、必要に応じて応用問題や文章問題等に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○反復練習を授業の中で行い、基礎・基本の徹底を図る。</li> <li>○既習事項や解答までの流れを確認しながら授業を行い、思考力や判断力を養う。</li> <li>○生徒が問題を解く過程で、生徒の答える機会や時間を十分に取って授業を進行し、数学に対する意欲・関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な問題、生徒の学習状況に応じた問題に取り組む時間を設定していく。</li> <li>○既習事項や解答までの流れを確認しながら授業を行っていく。</li> <li>○知識を活用する機会を多くし、用語の定着を徹底する。</li> <li>○数学的な思考力・判断力・表現力を養い、活用する力を身に付けるために、必要に応じて応用問題や文章問題等に取り組ませる。</li> </ul>